



2020 12 16

積乱雲次々に発生



広島土砂災害

広島市で空襲的な豪雨となった(上から下へ) 20日午前1時から3時の激しいレーダー豪雨。南西から北東に延びる線状の雨域が広島市付近にかかっている。 (気象庁提供)

広島市で空襲的な豪雨となった(上から下へ) 20日午前1時から3時の激しいレーダー豪雨。南西から北東に延びる線状の雨域が広島市付近にかかっている。 (気象庁提供)

広島土砂災害39人死亡

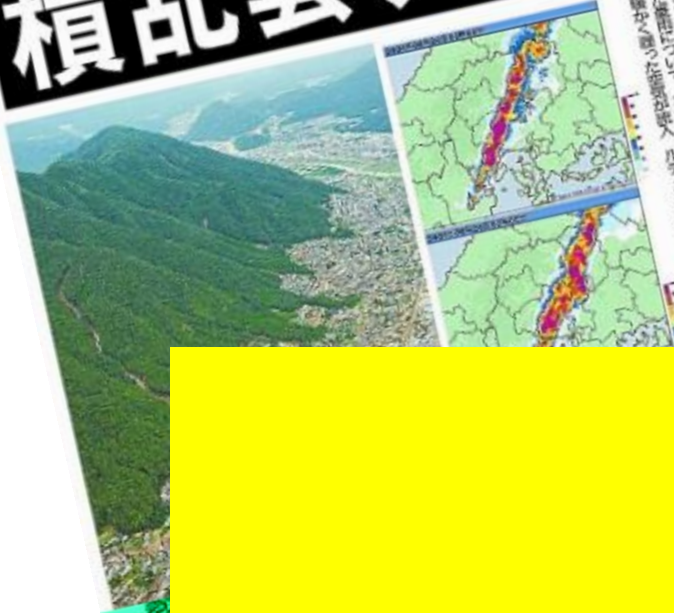


未明の豪雨土石流 安佐南・安佐北7人不明

1時間130ミリ

広島市で空襲的な豪雨となった(上から下へ) 20日午前1時から3時の激しいレーダー豪雨。南西から北東に延びる線状の雨域が広島市付近にかかっている。 (気象庁提供)

積乱雲次々に発生



広島土砂災害

バックビル、
3時間雨量

広島県広島市東区、土砂災害が発生。土砂が家屋に押し寄せ、死者が出たと見られる。また、土砂が道路を埋め、交通が遮断された。土砂災害は、大雨による土壌の浸透と、急激な水位の上昇によって発生する。広島市では、土砂災害の危険な地域が数多くあり、大雨の際には注意が必要である。

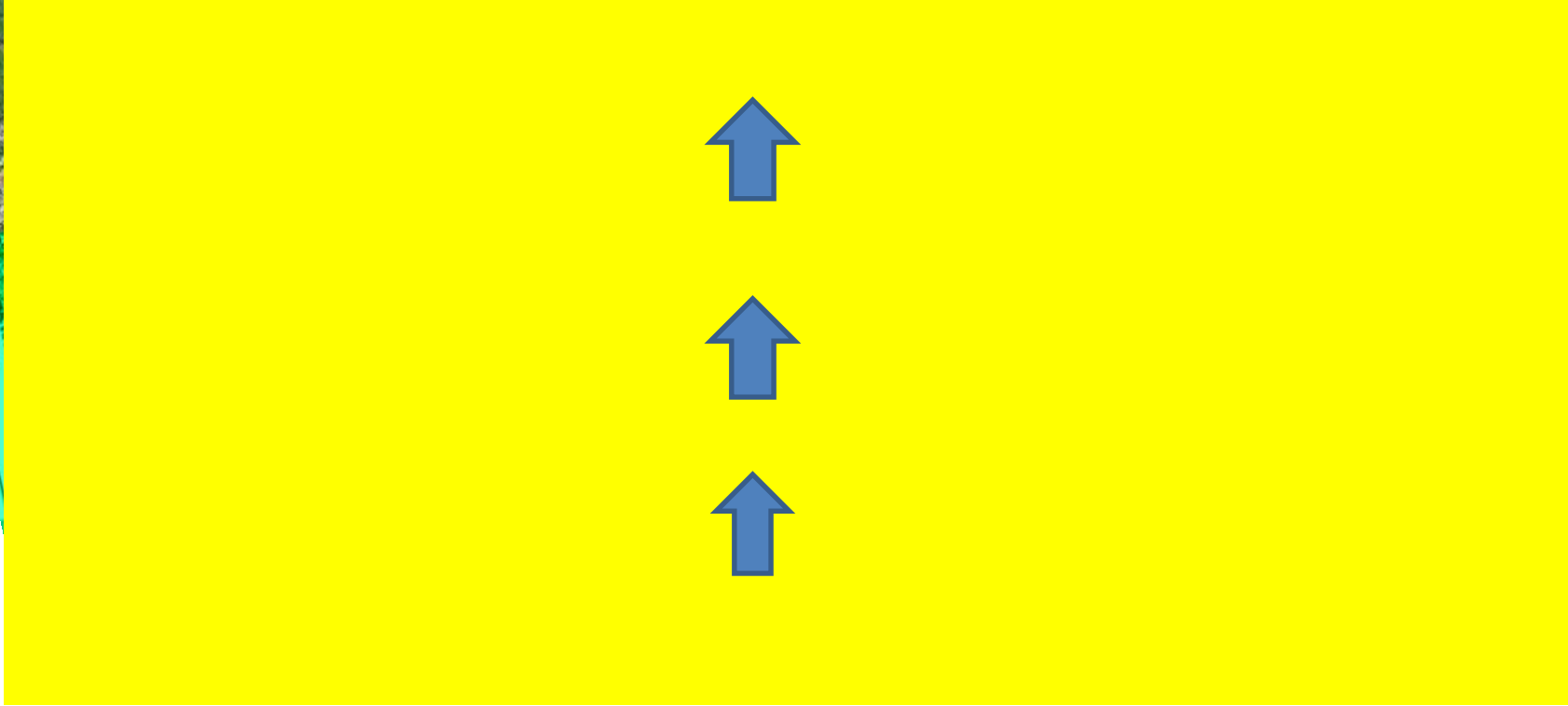
広島土砂災害39人死亡



未明の豪雨土砂災害

安佐南・安佐北7

1時間1



防災対策で日々の暮らしに安心を 中国新聞社の防災サービス

広島市の防災行政無線をご自宅に音声でお届け

防災受信機サービス

防災受信機サービスは、中国新聞社が広島市と「防災情報等の提供に関する協定」を締結し、中国新聞グループのケーブルテレビ2社のシステムを利用して、広島市の防災行政無線の音声をご自宅にお届けするものです。

特長
1

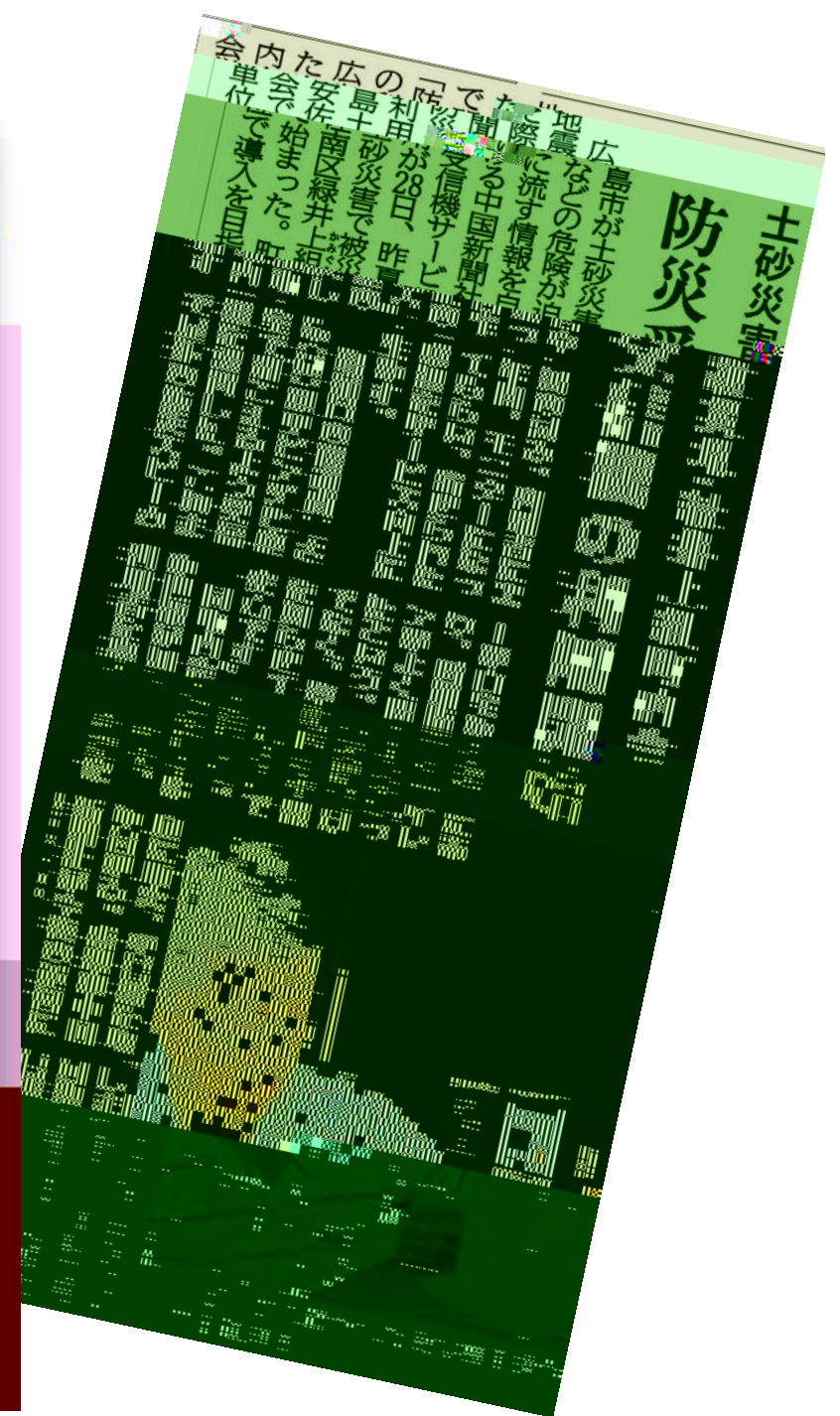
お部屋で聞けるから
聞き取りやすい

特長
2

音量を絞っていても
緊急時は自動で最大に

特長
3

乾電池併用で停電時は
もちろん持ち出しもOK



平時

きめ細かい地域情報やニーズの提供

発信者 新たなコンテンツ販売・
広告事業展開の可能性

受信者 地域住民
テレビ端末を通じた
ハイパーローカル情報の入手

自治体 地域メディア
新聞・放送

②Hybridcastによる
エリア別情報配信

行政情報の発信
行政情報

地域ニュース

⑤広告配信

地域情報流通基盤

①効率的な情報収集と
マルチデバイス配信

Hybridcast

スマホ連携
(詳細情報)

- ・地域ニュース
- ・自治体広報誌
- ・地場企業、商店の広告
(オリコミ的)

デジタルサイネージ

⑦災害時切替

地場企業
地域商店

テレビ端末、サイネージへの広告出稿

自治体

効率的な情報収集による
地域情報流通基盤

自治体の避難情報

CMD

登録された災害時情報の入手
避難行動指針に関する情報入手

自治体・地場企業・商店の連携

広告事業展開の可能性

平時

災害時

自治体

地域メディア
新聞・放送

④地域メディアによる情報登録

②Hybridcastによるエリア別情報配信

行政情報の発信

行政情報

地域ニュース

⑤広告配信

地場企業

地域商店

地域情報流通基盤

①効率的な情報収集とマルチデバイス配信

デジタルサイネージ

テレビ端末、サイネージへの広告出稿

自治体

効果的な情報伝達による避難行動促進

避難情報

災害情報

③デジタルサイネージとの接続・表示

交通機関

運行情報

CMID

一括代行登録

災害時に氾濫する情報の整理

地域住民

避難所情報

⑥地域住民による情報提供



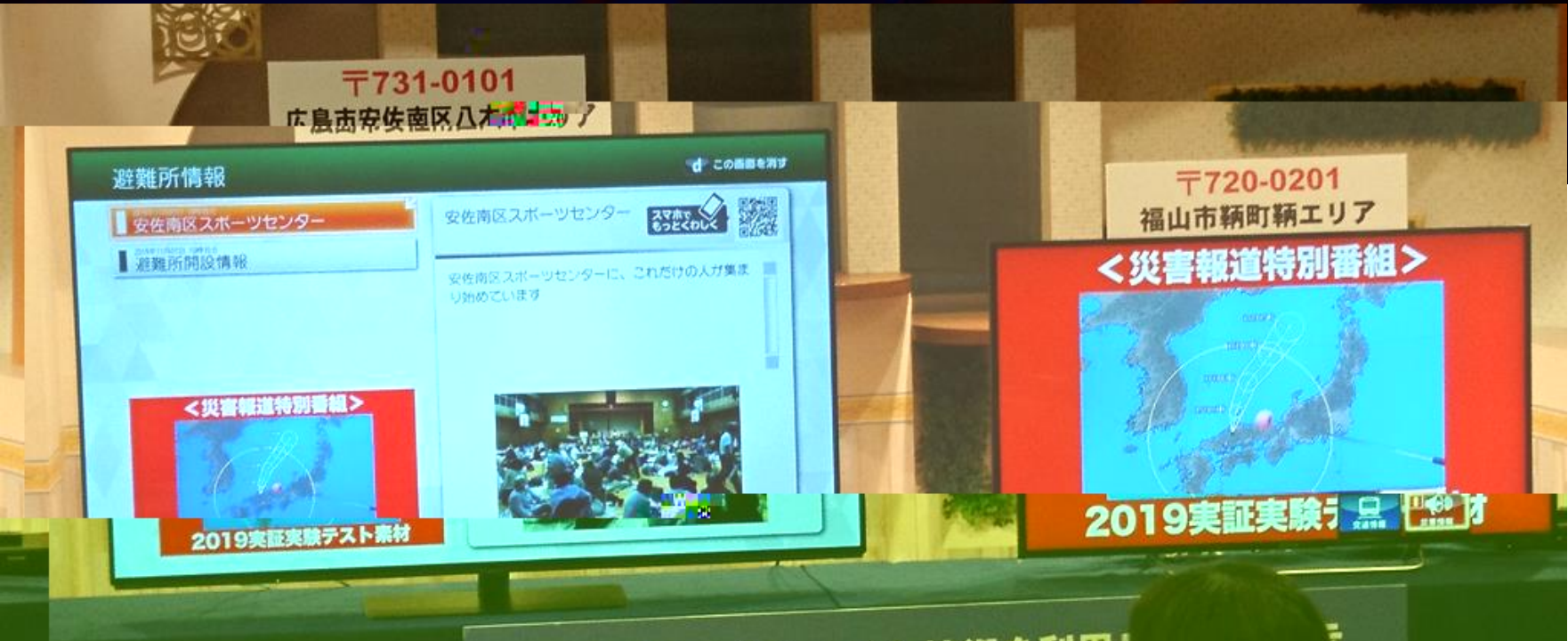
- ・整理された災害時情報
- ・避難行動の助けになる

地域住民からの情報提供による被災地の詳細把握



2019 11 7

41



20 9
 30 6
 40 9
 50 7
 60 3
 70 2
 5

災害時において、地域住民からは、どのような情報が知りたいですか？（複数可）

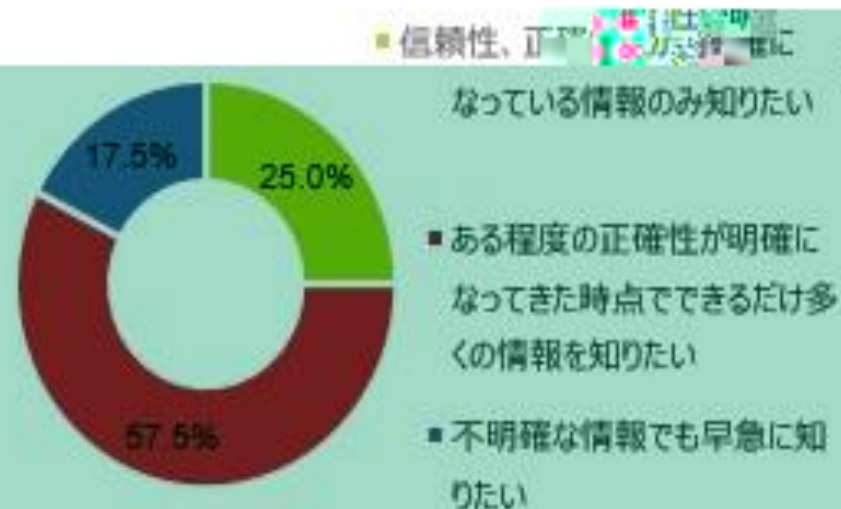
評価・考察



地域住民からの自発的な情報発信の内容として、「道路の状況」や「近くの避難所の避難状況」等、報道機関からの詳細な情報発信が難しい分野への期待値が高かった。

個人によって発信された情報は、信頼性や、正確性が不十分な場合があることについてどのようにお考えですか？

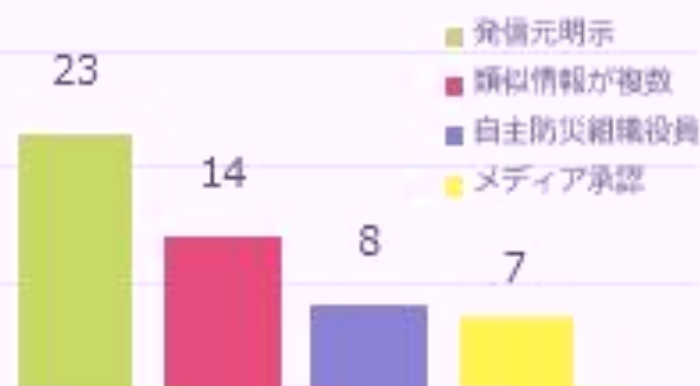
評価・考察



災害時には約80%のモニターが何らかの信頼性担保を期待している。災害時という緊急事態における情報流通の運用ルールについては、別途検討が必要。

個人による情報発信について、その信頼性、正確性を担保する方法として、どのような方法があると思われますか？

評価・考察



情報の正確性については、「情報の発信元を明示した上で情報発信を行う」ことで、正確性の担保が可能との回答が最も多かった（56%が選択）。次いで、「複数の人が類似の情報を発信した場合に流れる」が多く（34%が選択）、複数の手法を組み合わせて情報発信の方法を検討する方向性についても検討を進めたい。

災害時において、みなさんは情報発信されますか？

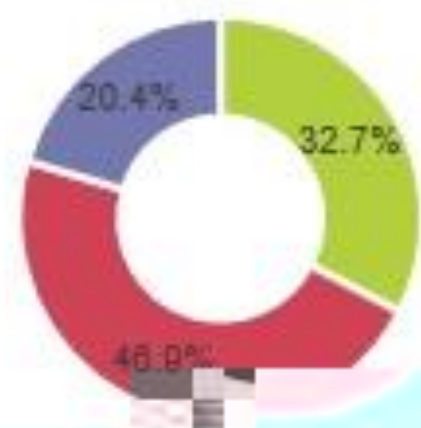
評価・考察



「発信しない」以外の選択肢を選択したのが全体の85%程度あり、仕組みを構築することで、地域住民からの情報発信は、可能と想定。

どのような情報が発信できると思いますか？

評価・考察

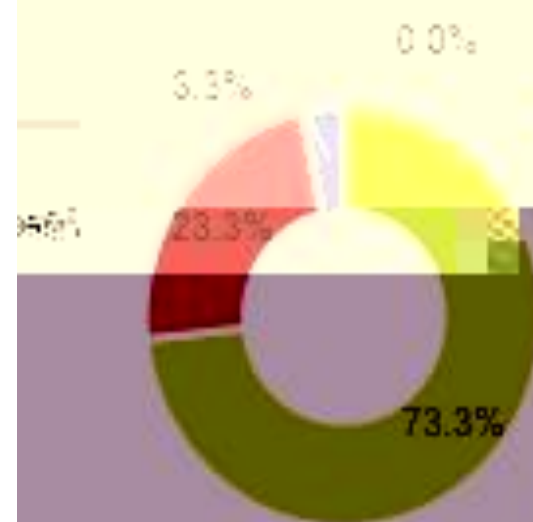


- テキストなら発信する
- 写真なら発信する
- 動画なら発信する

モニターごとによって区々だが、テキストや写真等の何かしらの情報発信について、前向きな意見が寄せられた。

発信した情報について新聞社や放送局の報道に利用することについてどうお考えですか？

評価・考察

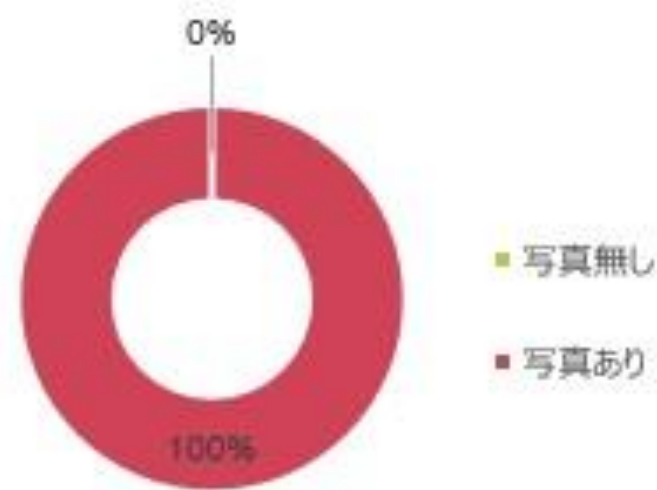


- 事前に許諾を得て利用してほしい
- 情報料を支払ってくれるなら利用してよい
- 利用してほしくない

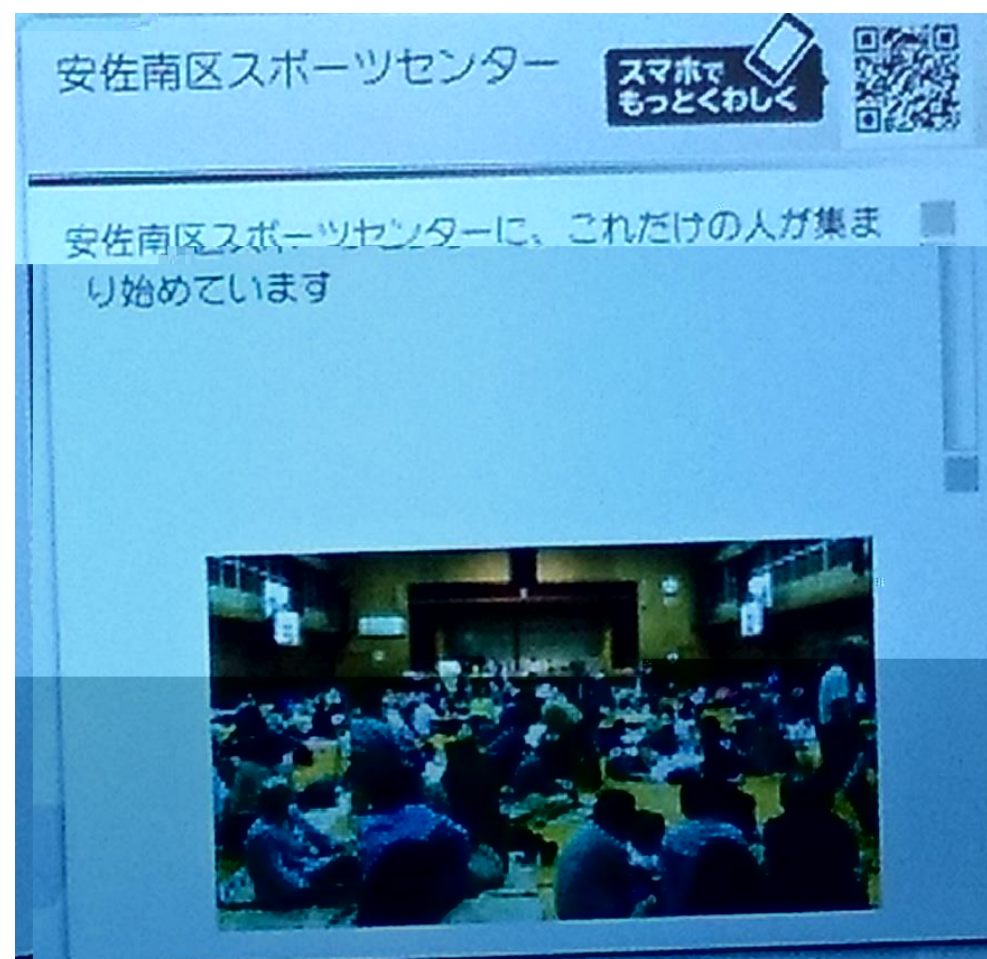
地域住民から発信された情報の報道への利用についても、前向きな意見が寄せられており、より詳細な情報を報道機関から発信できる可能性も高い。

避難行動を促進するのはどちらの画面だと思いますか？

評価・考察



静止画による災害状況の報道は、避難行動の促進に効果的であるとモニター全員が回答した。





.